

施策の展開	基本目標1	子どもの人権を大切にする環境づくり	資料3-2(第7回松原市子ども・子育て会議)
-------	-------	-------------------	------------------------

番号	事業名	事業概要	平成26年度予定	決算額	関係課
1	家庭児童相談の充実	18歳未満の子どもに関する様々な問題について相談を行い、子どもと家庭の福祉の向上に努めます。複雑・多様化したニーズに応じた相談体制の充実に努めます。	相談の充実に努める。	3,163,600	子ども未来室
2	学校等における教育相談の充実	スクールカウンセラーや臨床心理士を各学校や松原市教育支援センターへ派遣し、児童生徒・保護者・教職員を対象とする教育相談を行います。	幼児児童生徒・保護者・教職員の教育相談を行うためのスクールカウンセラーを松原市立四つ葉幼稚園、各小中学校に配置し、臨床心理士を松原市教育支援センターに配置する。 ・臨床心理士 1名 ・スクールカウンセラー 11名	11,248,000	教育推進課
3	青年自立支援事業 平成20年4月～	不登校・ニート・ひきこもり等の青年とその家族を対象に、会館職員や臨床心理士による青年の自立に関する悩み等の個別相談・支援や、同じ境遇にある仲間等との交流のために家庭以外の居場所の提供、また社会参加や就労にむけた様々な情報提供・体験を行います。	講師謝礼 青年相談 760,000円 自立支援 60,000円	820,000	人権交流センター
4	要保護児童対策地域協議会	児童虐待等要保護児童の問題に対し、保健・医療・福祉・教育・警察などの関係機関が児童虐待等の予防、早期発見から児童とその家族への援助にいたるまで、有機的な連携に基づいた援助方策、援助システムを検討し虐待の防止等を推進します。また、定期的なケース会議等を開催し、関係機関の連携を図りながら、児童虐待等を防止できる地域づくりを目指します。	松原市要保護児童対策地域協議会の調整機関として、代表者会議、実務者会議、個別ケース検討会議を開催し、情報共有、共通理解を図り、要保護児童の早期発見、早期対応を強化する。	120,000	子ども未来室 関係各課
5	虐待防止の啓発	児童虐待という子どもの成長、発達に多大の悪影響を及ぼす問題を未然防止するために、セミナー等を開催します。	児童虐待防止月間(11月)に、広報及び市内スーパーにて市民へ通告を啓発する。また、児童虐待に関する講演会を企画、実施する。	30,000	子ども未来室
			子ども自身が持っている内なる力を引き出し、子どもたちが“自信”を持って、“安心”し“自由”に生活できるようにするために、人権教育市民セミナー、その他講演会を企画し、実施します。	300,000	人権交流室

施策の展開	基本目標1	子どもの人権を大切にする環境づくり	資料3-2(第7回松原市子ども・子育て会議)
-------	-------	-------------------	------------------------

番号	事業名	事業概要	平成26年度予定	決算額	関係課
6	児童虐待防止プログラムの実施	虐待(のおそれ)のある養育を防止するためのプログラムの実施を検討し、子どもの虐待発生防止のための啓発活動を企画し、実施します。	子ども自身が持っている内なる力を引き出し、子どもたちが“自信”を持って、“安心”し“自由”に生活できるようにするために、人権教育市民セミナー、その他講演会を企画し、実施します。	300,000	人権交流室
			養育において、育児不安や養育不安、虐待等のおそれがある母子に対してグループワークを実施する。	765,000	子ども未来室
7	子ども家庭サポーター(虐待防止アドバイザー)の活用	まつばら子育てサポーターがボランティアとして参加することにより、子育てに関する不安や悩みについて、身近で気軽に支援を受けられる体制づくりを進めます。	平成26年度予定は、虐待予防を第一目的とする養育支援家庭訪問事業の訪問対象家庭の増加から、新しい家庭訪問支援員の確保のため、連続6回講座のまつばら子育てサポーター養成講座を開催する予定である。また既存の訪問支援員のスキルアップ講座も事例検討を中心に年2回開催する予定である。	250,000	子ども未来室
8	母子生活支援施設への入所	保護が必要な母子に希望があれば、施設で保護し、自立の促進を図ります。	配偶者のいない女子またはこれに準ずる事情のある女子及びその者の監護すべき児童を母子生活支援施設に入所させることにより母子家庭等の自立の促進を図り、その生活の支援を行う。	12,646,518	子ども未来室
9	児童養護施設・乳児院などへの入所	保護を必要とする児童の生活と成長の場を保障することですべての子どもの健全育成をめざします。	相談により必要と判断された場合は、富田林子ども家庭センターに連絡をする。	0	子ども未来室
10	「子どもの権利条約」等の普及・啓発	「子どもの権利条約」に対する理解・認識を深め、子どもの権利を守っていくために「子どもの権利条約」の趣旨や内容を紹介する冊子の改訂、配布を行うとともに、ホームページ等を活用しながら啓発・普及に努めます。	人権教育市民セミナー、ひゅーまんフェスタ等、様々な人権啓発を推進する機会を設け、冊子の配布を行うとともに、広報、ホームページ等を通じて啓発・普及に努めます。	1,083,500	人権交流室 関係各課

施策の展開	基本目標1	子どもの人権を大切にする環境づくり	資料3-2(第7回松原市子ども・子育て会議)
-------	-------	-------------------	------------------------

番号	事業名	事業概要	平成26年度予定	決算額	関係課
11	総合的な人権教育・啓発活動の推進	すべての人々の基本的人権が尊重される社会の実現のため、家庭、地域、学校、職場など社会のあらゆる場を通じての人権教育・啓発の充実を図っていきます。	人権教育市民セミナー、人権啓発講座、出かける人権講座等、様々な人権啓発を推進する機会を設け、関係機関とともに人権啓発詩・読書感想文応募等及び、人権啓発冊子を発行し配布することにより、家庭、地域、学校等において人権教育・啓発に努めます。	1,356,000	人権交流室 関係各課
12	子どもフォーラム等の開催	子どもたちが自由な発想や視点で意見を発表し、ともに考え、学ぶ場として、生徒会交流会などの開催を実施します。	松原市内各小中高の児童会、生徒会の取り組みや「いじめ防止」の取り組みを発表しあい、ともに考え学ぶ場として、児童会、生徒会交流会などの開催を実施します。	0	地域教育課
13	青少年リーダー育成講座(ユースセミナー)	市内の高校生・青年を対象に人権、就労など今日的な課題に対する社会的見識を深める講座を自主運営し、自らの生き方を見つめる機会を提供します。また、同時に青少年会館の事業を担うボランティアの養成にも努めています。	講師謝礼 ユースセミナー 70,000円	70,000	人権交流センター
合 計				32,152,618	

施策の展開	基本目標2	子どもの健やかな成長支援
-------	-------	--------------

番号	事業名	事業概要	平成26年度予定	決算額	関係課
14	母子健康手帳の交付	母子の健康管理を行うために、母子健康手帳を交付します。手帳交付時には、母子保健サービスの案内や赤ちゃんに関するパンフレットなどを同時に配布し、情報の提供に努めます。	母子健康手帳は地域保健課窓口で妊娠届出をされた方に交付。栄養士を加えた専門職で窓口対応を実施し、母の健康状態、家庭環境等の聞き取りを行い、早期支援、情報提供に努める。マタニティマーク入りエコバックの配布。	315,800	地域保健課
15	出産前小児保健指導	妊娠後期から産後2か月までの育児不安の解消を図るため、産科医の紹介を受け、小児科医が妊産婦に対して育児相談を実施します。	これまでと同様、継続して行う。 ただし、平成27年度以降については、予防接種の早期開始やこんにちは赤ちゃん訪問事業等によりかかりつけ医をもち、早期から育児相談ができる体制が整ってきたため事業終了する。	2,004,000	地域保健課
16	健康診査時集団指導	4か月、1歳7か月、3歳6か月児健康診査及び2歳、2歳6か月児歯科健康診査時に歯科医師、歯科衛生士、栄養士、保健師による集団指導を実施します。健康づくりのため、また、健やかな成長を支援するため、育児などの情報を提供し、健康の保持増進を図ります。	これまでと同様に乳幼児健康診査時に歯科医師、歯科衛生士、保健師、栄養士、子育て支援センター保育士が集団で指導を実施。	0	地域保健課
17	いい歯でげんき教室	1歳7か月児健康診査において、カリオスタット検査を実施します。要注意と判定された幼児とその保護者に対して保健指導を行うことにより、う蝕(むし歯)などの歯科疾患の予防を図り、生涯を通じた健康づくりの基礎を築きます。	1歳7か月児健康診査時に実施しているカリオスタット検査の結果、必要な児に教室を案内。月1回年12回実施。	212,400	地域保健課
18	保健師相談	乳幼児の発育、発達や育児、予防接種などの相談は随時、また、市立保健センターでは、週に1回予約制で来所相談を実施します。育児や子どもの発育、発達などの相談に応じていきます。	市役所庁内にて実施の「こころとからだのなんでも健康相談」にて予約なしで相談を実施。内容に応じて、保健師、助産師、看護師、栄養士などが対応。	0	地域保健課

施策の展開	基本目標2	子どもの健やかな成長支援
-------	-------	--------------

番号	事業名	事業概要	平成26年度予定	決算額	関係課
19	こんにちは赤ちゃん訪問 平成20年4月～	出生の情報をもとに、保護者に連絡をとり生後4か月までの赤ちゃんのいる世帯を専門職が訪問し、育児に関する情報を提供するとともに、育児不安が解消でき、安心して子育てに取り組めるよう支援します。	助産師、保健師、看護師で実施予定。連絡の取れない世帯は直接訪問実施予定。	0	地域保健課
20	妊婦健康診査	妊娠期において14回の妊婦健診受診票を交付し、妊婦健診の助成を行います。	平成26年度から1回目16,900円に増額し、2～14回目の単価は4,520円にて実施。1人あたり75,660円助成。	54,202,000	地域保健課
21	乳幼児健康診査	乳児一般、4か月児、乳児後期、1歳7か月児、3歳6か月児を対象に健康診査を実施し、疾病の早期発見、発達の確認、保護者の育児支援を行っていきます。健康診査の結果、経過観察健康診査や関係機関への紹介なども行っていきます。また、1歳7か月児健康診査での保育士の子育てに関する助言などを充実していきます。	乳児一般、後期健康診査は医療機関に委託して引き続き実施。 4か月児健康診査、1歳7か月児・3歳6か月児健康診査を月2回集団健診で実施。	24,526,360	地域保健課
22	歯科健康診査	乳歯がはえそろう、う蝕の急増期である1歳7か月児、2歳児、2歳6か月児、3歳6か月児に歯科健診を実施し(2歳児、2歳6か月児には希望者にフッ素塗布を実施)、う蝕などの歯科疾病を早期発見するとともに、予防に努めます。	1歳7か月児、3歳6か月児は月2回内科健診に合わせて実施。2歳・2歳6か月児歯科健診は月1回引き続き実施。	2,323,200	地域保健課
23	乳幼児経過観察健康診査	乳幼児健康診査や相談などで経過観察が必要とされた乳幼児と保護者に対して、小児科、心理相談員による健診・相談を行います。疾病や障害の早期発見、養育の健全化や良好な親子関係が保てるように努めます。	小児科医による健診は月2回実施。 心理相談は午前月1回、午後月3回実施。	1,920,840	地域保健課

施策の展開	基本目標2	子どもの健やかな成長支援
-------	-------	--------------

番号	事業名	事業概要	平成26年度予定	決算額	関係課
24	妊産婦・乳幼児訪問指導	妊産婦・乳幼児の家庭を訪問し、家庭での状況を把握し、それに基づいて相談にのり、育児不安の解消や子育ての支援に努めます。	保健師・助産師・看護師・雇用の助産師と役割分担しつつ、こにちは赤ちゃん訪問を中心に訪問を実施予定。乳幼児健診等で支援・指導が必要な親子にも訪問して相談を実施予定。	1,542,800	地域保健課
25	予防接種	子どもを感染症から予防するために、集団及び個別医療機関で予防接種を実施し、予防接種に関する情報を提供し、安心して接種できるように努めます。	(集団接種)BCG 月2回年24回 (個別接種)2・3・4種混合・不活化ポリオ・麻しん・風しん・MR1期・MR2期・日本脳炎・子宮頸がん・小児ヒブ・小児肺炎球菌 水痘(10月～) 麻しん・風しん混合(MR)ワクチン3期・4期未接種者救済事業 風しんワクチン接種費用助成事業	262,214,322	地域保健課
26	マタニティスクール	妊婦や配偶者を対象に妊娠・出産・育児についての知識の習得や、妊婦同士の交流の場として教室を開催します。実習を取り入れたり、先輩ママとの交流会を実施していきます。	平日は4回を1クールとして、年6クール開催。日曜日は年6回、パパママ教室として開催。平日の3回目の妊婦歯科健診をマタニティ受講者以外も受付実施。里帰り・仕事等で4回すべて受講できない妊婦も受付し、受講しやすいようにしている。	666,080	地域保健課
27	子育て交流会	生後5～6か月の乳児と保護者を対象に育児相談や離乳食についての話、試食などを実施し、また、保護者同士の交流を図ることで、育児に対する不安を解消し、安心して子育てができるよう援助していきます。	年6回。マタニティ・スクールの4回目と同時開催し、先輩ママとの交流会をあわせて実施。	0	地域保健課
28	親子のふれあいルーム	生後6か月～1歳未満までの乳児と保護者を対象に、月1回親子の交流の場を提供し、親子での遊び、保護者同士の交流の時間を設けるとともに育児情報の提供や相談に応じていきます。	月1回、年12回予約制で実施。親子の交流の場を提供し、各相談にも応じている。年3回禁煙教育も同時実施。	189,360	地域保健課
29	心身の健康に関する啓発・学習の推進	思春期の心と体の健康づくりを推進するため、性に関する健全な意識、正しい知識の啓発を行うとともに、喫煙や薬物の有害性などについての基礎知識の普及を図ります。	思春期の児童生徒の心と体の健康づくりを推進するため、各小中学校において、薬物・危険ドラッグ・喫煙防止等について関係機関(警察・薬剤師等)と連携し、自分の心と体を大切にする取組みを進めます。	0	教育推進課

施策の展開	基本目標2	子どもの健やかな成長支援
-------	-------	--------------

番号	事業名	事業概要	平成26年度予定	決算額	関係課
30	相談体制の充実	ストレスなど、様々な要因により、喫煙、飲酒などの行動に走りやすい子どもに寄り添い、問題解決に取組むための相談体制の整備を図ります。	問題行動の未然予防と立ち直り支援のために、巡回相談を行うとともに、関係諸機関との連絡会議を年間11回実施する。	0	教育推進課
31	食生活に関する啓発	給食だよりやホームページ、乳幼児健診等を通じて、保護者等へ食に関する情報を提供し、望ましい食生活に関する知識の普及・啓発を図ります。	前年同様に母子保健事業全般の中で正しい食生活のあり方について継続的に啓発する。 また、平成26年度も公立幼稚園6園で保護者に向けた園児の弁当教室の開催を予定している。	0	地域保健課
			毎月保護者に配布する献立表の裏に給食だよりを掲載し、小学校15校、中学校7校の児童・生徒の家庭に配布する。また、学校給食課のホームページでも献立表や給食の写真など、給食に関する情報を提供する。	0	学校給食課
32	食への関心づくり	改善推進協議会等の協力を得て、調理実習等を通して	食生活改善推進協議会が主体となり、希望があった公立幼稚園2園と小学校1校の土曜クラブで調理実習を行う。 3歳6か月時健診時の食育コーナーでの啓発は継続して行う。 また、昨年度に引き続き、ゆめニティまつばらにおける健康ステーションでは、子どもとその保護者、および一般市民を対象にゲームや食育SATシステムによる食事診断をとおして、食への関心を深める機会を提供する。	0	地域保健課
			保護者や就学前児童を対象にした試食会を開催し、食への関心と理解を深めてもらう。また、栄養教諭や栄養職員が生涯を通じた健全な食生活の実現、食文化の継承、健康の確保等が図れるよう、自らの食について考える習慣や食に関する様々な知識と食を選択する判断力を楽しく身に付けるため食育授業等を実施する。	0	学校給食課
			①栄養相談は地域保健課が継続実施予定。②毎月の予定献立表・食事だよりの配布。③引き続き学校給食への関心と理解を深めるために、就学前児童のランチルーム交流会を予定(年1回)。	0	子ども未来室

施策の展開	基本目標2	子どもの健やかな成長支援
-------	-------	--------------

番号	事業名	事業概要	平成26年度予定	決算額	関係課
			給食センターにおいて、保護者対象の給食試食会を行い、給食への関心と理解を進めます。各小中学校においては給食試食会や授業を通して、栄養教諭等により食の関心と理解を深める食育の推進を進めます。	0	教育推進課
33	安全な給食の充実	乳幼児・児童・生徒の心身の健全な発達に資するため、安全な食材で衛生管理を充実し、おいしい給食の提供に努めます。	給食用の物資は、厳しい規格基準を設けて入札で決定し使用する。また、地元でできた新鮮で安全な旬の野菜を取り入れる。	0	学校給食課
			引き続き安全で楽しい給食の提供と、豊かな食体験を重ねる食育を行う。	0	子ども未来室

施策の展開	基本目標2	子どもの健やかな成長支援
-------	-------	--------------

番号	事業名	事業概要	平成26年度予定	決算額	関係課
34	食に関するボランティアの育成・活用	食を営む力を育てる環境づくりを進めるため、食に関するボランティアを育成し、学校、幼稚園、地域等への知識の普及・啓発を支援します。	・食のボランティア養成講座は例年どおり実施済(受講者11人) ・自主活動、及び地域保健課への協力・支援も例年どおり実施予定	348,599	地域保健課
35	食育推進に関するネットワークづくり 平成21年1月～	行政機関を核として食育に関係する情報を一元的に把握し、総合的な取り組みが行えるネットワークづくりを図ります。	関連団体と連携し、ネットワークの基盤づくりや食育に関する情報の共有化をなお一層進める。	0	学校給食課
			合同会議の開催しない予定。	0	子ども未来室
			給食センターより毎日給食献立(写真・メニュー)をホームページに掲載し、情報提供を行い地域の方々や保護者の食育への関心・意識の啓発を進めます。各小中学校において給食試食会を保護者や地域の方々対象に実施し、保護者や地域との意見交流の場を作ります。		教育推進課
			食育推進計画の推進に向けて、教育推進課、学校給食センター、産業振興課、子ども未来室、地域保健課の栄養士を中心とする職員、および、関係団体が連携していけるように、それぞれの取り組みについて情報交換を行っていく。	0	地域保健課
36	小児救急体制の充実	南河内北部広域小児急病診療事業では、土日祝の夜間帯の小児急病診療を実施しています。松原徳洲会病院では、小児医療(小児救急を含む)の充実を目指し、また、南河内圏域での救急医療については、大阪府をはじめ関係機関と連携のもと、協議を進めます。	南河内北部広域小児急病診療事業(松原市・羽曳野市・藤井寺市)では、土・日・祝・年末年始の準夜帯の小児急病診療(羽曳野市保健センター)を引き続き実施。松原徳洲会病院において、土曜午後・日・祝・年末年始の小児休日急病診療事業を引き続き実施。地域の小児医療の充実を目指し、関係機関と協議を進めます。	16,994,486	地域保健課

施策の展開		基本目標2	子どもの健やかな成長支援		
番号	事業名	事業概要	平成26年度予定	決算額	関係課
37	地域医療の充実	「松原市これからの地域医療のあり方検討委員会」を開催し、今後の地域医療の充実について検討します。	なし。	0	地域保健課
38	入院助産の支援	経済的な理由により入院助産できない妊産婦に対し、入院助産に要する費用を一部援助します。	平成26年度に関しては、措置件数として53件を見込む。	16,193,965	子ども未来室
39	乳幼児医療費の助成	乳幼児に係る医療費の一部を助成することにより、乳幼児の健全な育成に寄与し、もって児童福祉の向上を図ります。	平成26年12月から通院対象年齢を拡充し、本市に居住する小学校6年生までの子どもに係る入院及び通院医療費の自己負担額の一部を助成することにより、子どもの健全な育成に寄与し、もって児童福祉の向上を図る。	191,420,340	医療支援課
40	ひとり親家庭医療費の助成	ひとり親家庭の19歳までの子どもの医療費の一部を助成することにより、健全な育成に寄与し、その家庭の福祉の向上を図ります。	ひとり親等(父又は母及び養育者)と、その者が監護又は養育する18歳になる年度末までの児童のうち、一定の条件を満たしている者に対して医療費の自己負担額の一部を助成することにより、健全な育成に寄与し、その家庭の福祉の向上を図る。	105,064,746	医療支援課
41	障害者(児)医療費の助成	障害児の医療費の一部を助成することにより、健全な育成に寄与し、その家庭の福祉の向上を図ります。	本市の居住者で65歳未満の者(①身障手帳で1・2級の者、②療育手帳が重度の者、③療育手帳が中度かつ身障手帳を持っている者)で一定の所得金額以下の者に対し、医療費の自己負担額の一部を助成することにより、健全な育成に寄与し、その家庭の福祉の向上を図る。	152,700,540	医療支援課
合 計				832,839,838	

施策の展開	基本目標3	子育て家庭への社会的支援
-------	-------	--------------

番号	事業名	事業概要	平成26年度予定	決算額	関係課
42	地域子育て支援拠点事業	地域の子育て支援情報の収集・提供に努め、子育て全般に関する専門的な支援を行う拠点として機能するとともに、既存のネットワークや子育て支援活動を行う団体等と連携しながら、子育てに悩みや不安を持つ子育て家庭などに対して育児相談・育児教育・育児講座を実施するとともに、地域に出向いた子育ての支援に努めていきます。	地域子育て支援拠点事業センター型において、育児相談、子育て講座、親子教室等を実施します。 公立2か所(第2保育所内(のびのび)、恵我図書館内(わくわく))民間2か所(清水保育園、まつばら駅前おおぞら保育園)	33,530,177	子ども未来室
43	育児支援家庭訪問事業	児童虐待の未然防止や諸問題の解決を図るため、一般の子育てサービスを利用することが難しい家庭を対象に家庭訪問し、養育者の安定を図ります。育児に悩む母親に対して家庭児童相談室・保健師・助産師等が連携し、対応していきます。	児童虐待の観点から、子育て中の家庭にとどまらず、若年妊婦などの特定妊婦も含めて、妊娠中から胎児への虐待予防のため養育支援することでより事業内容の充実をはかります。また母子保健の未熟児や医療在宅ケアを必要とする乳児の家庭にも、養育支援を提供することが一定あるため、訪問時に支援内容に留意点が必要になる。	431,000	子ども未来室
44	女性相談	女性の人権を尊重し、女性が抱える様々な問題を専門のカウンセラーがともに受け止め共感し、女性自身が問題解決をし、自立していく力を引き出すための相談を実施します。	女性の人権を尊重し、女性が抱える様々な問題を、専門のカウンセラーが受け止め、共感し、女性自身が問題解決し、自立していく力を引き出すための支援をするため、女性相談を実施します。また母親を対象にしたピアサロン「ココ・カラwith」を実施し、継続した支援が必要な場合、適切な機関につなぐこともします。(NPO法人がピアカウンセラーとなっています。)	1,190,576	人権交流室
45	総合相談	市民の生活の様々な分野の相談を受ける中で寄せられる子育ての悩み、進路問題など、子どもの健全育成に関わる多くの悩みについて、関係機関との連携及び協働を図りながら相談業務を実施します。	前年度より相談件数の増加が見込まれる。	0	人権交流センター
46	教育相談	会館職員による保護者の子育ての悩み等の個別相談・支援を図ります。状況に応じて臨床心理士によるカウンセリングを実施します。	No.3青年自立支援事業の青年相談により廃止。	0	人権交流センター
47	児童虐待発生要望システム構築事業 平成18年1月～	乳幼児健診の未受診家庭に児童虐待が発生する可能性が高いという国のデータから、未受診家庭に対して民生委員、児童委員が家庭訪問を行い、その家庭の状況を把握することにより児童虐待を未然に防止し、児童健全な育成を図るよう支援します。	1歳7か月児健診診受診児で保育所等の集団に属していない児童の家庭を訪問する。また3歳7か月健診の未受診児に対しても、新たに保育所等の集団に属していない児童の家庭訪問をしていく予定である。	0	子ども未来室

施策の展開	基本目標3	子育て家庭への社会的支援
-------	-------	--------------

番号	事業名	事業概要	平成26年度予定	決算額	関係課
48	園庭開放	保育所や幼稚園に通っていない就学前の子どもたちとその保護者を対象に、子ども同士・親同士の交流や遊びを通して子育ての支援を行うため、保育所・幼稚園の園庭を開放します。育児のノウハウをもつ保育所・幼稚園機能を活用し、気軽に誰でも利用できるよう子育て支援事業をさらに充実していきます。	地域の子育て支援のため、松原市立幼稚園6園において園庭等施設を開放し、保護者の保育参加、未就園児の親子への取り組み、子育て相談や子育て情報の発信などを行います。	0	教職員課
			1園民営化により、公立6園で実施予定。 開催回数96回 児童493人 保護者432人	0	子ども未来室
49	乳幼児育成指導事業	乳幼児健診等で相談を受けた親子に集団の場を提供し、遊びを通して親子や参加者同士の交流や育児相談に努めます。	健診後の集団フォローの場としてさくらんぼ教室1クール6回年5クール、りんご教室1クール9回年3クールを実施予定。	923,046	子ども未来室 地域保健課
50	遊び場・交流の場(プレイパーク)	就学前から小学生の子どもたちが自分の責任で自由に遊ぶ場を提供し、保護者とともに楽しく時間を過ごすとともに、保護者の子育て交流を進めます。	なし	0	人権交流センター
51	ファミリー体験交流活動	親子で楽しめる体験教室や自然野外体験により親子・親同士・子ども同士の交流促進を図ります。	講師謝礼 ファミリー講座 150,000円	160,000	人権交流センター
52	生涯学習事業	ニューファミリースクール、家庭教育学級等、幼児期から思春期の子どもを持つ親を対象にした子育て、自分育ての講座を実施します。	居場所づくり【子育て】講座の実施	680,000	いきがい学習課
53	こうみんかんに行こうDay	乳幼児及びその親が交流や出会いを通して、親同士の仲間づくりの場や、異年齢の子どもとの交流の場を提供します。	夏！こうみんかんに行こうDay 冬！こうみんかんに行こうDay 春！こうみんかんに行こうDay 一部実施中	0	いきがい学習課

施策の展開	基本目標3	子育て家庭への社会的支援
-------	-------	--------------

番号	事業名	事業概要	平成26年度予定	決算額	関係課
54	家庭教育研修会	各学校園で保護者参観や学校行事等の機会を活用し、子育てに悩む親同士の交流や家庭教育に関する学習機会を提供します。	各学園での参観日や行事で保護者同士の交流を通し、子育てに悩む保護者への心のケアや家庭教育に関する学習機会を提供します。	580,000	地域教育課
55	自主活動サークルの支援	地域で子どもを育てるという視点から地域における自主活動としての子育てサークルの活動を支え、青少年会館や公民館等の交流の場を提供します。	団体数 7団体 貸館 50回	0	人権交流センター
			4か所の子育て支援センターがそれぞれ地域を拠点とする子育てサークルに対して、活動場所や情報の提供やおもちゃの貸出、活動に対する支援を行う。サークルの一環として、運動会やクリスマス会の開催にも支援していきたい。要望があれば、手作りなどの手助けなども積極的にしていきたい。	0	子ども未来室
			未定	0	いきがい学習課
56	保育ボランティアの育成・活用	子育て中の親の学習活動やイベントへの参加等を支援するため、保育ボランティアを育成し、保育サービスの提供を図ります。	子育て中の親の学習活動やイベントへの参加等を支援するため、保育ボランティアを育成し、保育サービスを提供します。	641,240	人権交流室
			公民館★保育ボランティア養成講座実施	60,000	いきがい学習課
57	各種メディアを活用した子育て情報の発信	子育てに関する情報サービスやイベントなど様々な情報をとりまとめ、広報誌への掲載や、ガイドブックの発行、また、インターネットなどを活用し、子育ての情報を提供します。	引き続き、妊娠届出時に「こそだておうえんBook」を手渡し、情報提供に努める。		地域保健課
			子育てに関して、出生前から年齢の順を追って、経済的支援や利用できる制度をまとめた「こそだておうえんBOOK」の作成に取り組む。また、市のホームページに子育て支援課の実施事業を紹介する。配布方法についても、従来の母子手帳発行だけにとどまらず、様々な場所、方法を検討している。	393,000	子ども未来室
			なし	0	地域教育課

施策の展開	基本目標3	子育て家庭への社会的支援
-------	-------	--------------

番号	事業名	事業概要	平成26年度予定	決算額	関係課
58	保育料の軽減	子育て家庭への負担軽減を図るため、国の基準を下回る保育料基準を設定していますが、新たな保育料の設定にあたっては、現行の負担基準を参考に応益の原則に基づいた適正な保育料の設定を行います。	保育料を2年振りに増額。国の基準を下回る保育料基準を設定していますが、保育料の設定にあたっては、現行の負担基準を参考に応益の原則に基づいた適正な保育料の設定を行います。	0	子ども未来室
59	幼稚園の就園等に対する援助	家庭の状況に応じて、教育費などの負担軽減など子育てに関する経済的支援を行います。	幼稚園教育の普及を図るため、幼稚園に通園する児童の保護者に対し、所得状況に応じて保育料の減免を行う。また、同一世帯に小学校1・2・3年生の兄、姉を有する家庭を含め、とくに第2子以降の負担をより軽減するため、経済的支援を行う。	80,063,563	教職員課
60	義務教育に対する援助	家庭の状況に応じて、教育費などの負担軽減、就学費の援助など子育てに関する経済的支援を行います。	経済的理由により児童・生徒の就学が妨げられることのないように、要保護・準要保護児童生徒の保護者に対して、学用品費、給食費などを援助する就学援助事業を行います。	164,731,523	教職員課
61	児童手当の支給	次世代の社会を担う子ども一人ひとりの育ちを社会全体で応援する観点から中学校修了までの児童を対象に手当を支給します。	支給額(月額) 0歳～3歳未満 15,000円。3歳以上小学校6年生まで 第1・2子 10,000円、第3子以降 15,000円。中学生 10,000円。所得制限あり。制限を超える場合は一律 5,000円 支給人員 181,368人(延べ)。	2,007,404,915	子ども未来室
62	児童扶養手当	父または母と生計を同じくしていない児童や、父または母が政令で定める程度の障害の状態にある児童が育成される家庭に対し、生活の安定と児童の自立の促進に寄与するとともに、児童福祉の増進を図るために支給します。	平成26年度見込み支給人数は 全部支給延べ 約13,000人 一部支給延べ 約6,800人 合計支給延べ 約19,800人を見込む	787,288,073	子ども未来室
63	特別児童扶養手当	精神又は身体に障害を有する児童を監護している父母、あるいは父母に代わってその児童を養育している方に対し、福祉の増進を図ることを目的として、支給します。	平成26年度の受給者数は、270件を見込んでおり支給対象者一人につき重度の場合は月額49,900円中度の場合は月額33,230円である。	401,047	子ども未来室

施策の展開	基本目標3	子育て家庭への社会的支援
-------	-------	--------------

番号	事業名	事業概要	平成26年度予定	決算額	関係課
64	保育所の施設整備	子どもたちが日々安全で快適な生活を送れる保育環境を確保するとともに、多様な保育ニーズに対応できるよう、民間活力の導入により、保育施設の整備を図ります。	待機児童の解消と子育て世帯の子育て相談等に対応できる第3保育所の建て替えを実施。	324,127,000	子ども未来室
65	保育内容の充実	子どもたち一人ひとりの人権が大切にされ、心身ともに健全で調和のとれた豊かな人間性をもった子どもを育成するために、保育内容の充実に努めます。また、保育の質の向上や多様なニーズに対応できるよう、保育士などの研修の充実に努めます。	子どもたち一人ひとりの人権が大切にされ、心身ともに健全で調和のとれた豊かな人間性をもった子どもを育成するために、保育内容の充実に努めます。また、保育の質の向上や多様なニーズに対応できるよう、保育所研修の充実に努めます。	880,000	子ども未来室
66	異年齢交流・世代間交流の推進	核家族化や少子化などで、異年齢・高齢者とのふれあいの少なくなっているなか、地域の小・中・高との交流や高齢者との交流を通して、地域のつながりを深めていきます。	核家族化や少子化などによって、異年齢・高齢者とのふれあいが少なくなっているなか、地域の小・中・高生との交流や高齢者との交流を通して、地域のつながりを深めていきます 小学校 10回 中学校 10回 高等学校 3回 幼稚園 7回 私立保育園 1回 世代間交流(4園延べ) 高齢者等 3回	0	子ども未来室
67	子どもフェスティバル等文化事業の推進	子どもたちが多様な文化に触れる機会を持てるよう、公・私立保育所の児童を対象としたフェスティバルを開催します。また、対象児や内容などの充実を検討していきます。	平成26年11月に松原市文化会館にて文化フェスティバル開催。 【参加対象】 公立保育所(4・5歳児) 民間保育所(5歳児)	484,000	子ども未来室
68	保育所、幼稚園、学校の連携	子どもへの関わりと理解の一貫性を図って、子どもたち一人ひとりを大切に育成するために、保・幼・小の交流を深めていきます。	保育園、幼稚園の交流だけでなく、各小学校の行事に、保育園、幼稚園が積極的に参加できるよう、校区での連絡を取り合い、行事、保育両面での連携を図ります。	0	教育推進課
			民営化に伴い対象児童が減少し、第2保育所にてドッチボールを実施	0	子ども未来室
69	家庭支援推進 保育所事業の実施	入所児童に対して、家庭環境に配慮したきめ細やかな保育の実施を行なうとともに、特に配慮が必要とされる児童への支援として、家庭訪問・育児相談など地域に出向いて支援を行なうなど、保育所機能の一層の地域展開を図ります。	入所児童に対して、家庭環境に配慮したきめ細やかな保育の実施を行なうとともに、特に配慮が必要とされる児童への支援として、家庭訪問・育児相談など地域に出向いて支援を行なうなど、保育所機能の一層の地域展開を図ります。	5,060,397	子ども未来室

施策の展開	基本目標3	子育て家庭への社会的支援
-------	-------	--------------

番号	事業名	事業概要	平成26年度予定	決算額	関係課
70	延長保育の充実	利用者のニーズを踏まえ、早朝、夕方の延長時間の拡大などを検討していきます。	公立・民間全ての保育園で実施している。 【保育時間(延長含む)】 公立 7時から19時まで 民間 7時から19時まで 8ヶ所 7時から20時まで 5ヶ所 7時から21時まで 1ヶ所	71,727,123	子ども未来室
71	休日保育の充実	就労スタイルの多様化などによる休日の保育ニーズに対応できるよう充実していきます。	保育所入所児童の保護者の傷病、災害、事故、出産、看護、介護又は冠婚葬祭等や保護者の労働、職業訓練又は就学等により休日において家庭保育が困難となる児童を保育園において保育する事業を実施する。	1,355,000	子ども未来室
72	一時保育の充実	緊急時、保育を頼める人がいない、また継続的・短時間就労で一時的に家庭での保育ができない場合の支援策として一時保育を充実していきます。	在宅児童の世帯で、パート勤務など断続的に家庭での保育ができない場合や保護者の入院など緊急一時的に保育が必要な場合、また育児疲れなどで一時的に入所を希望する場合等において、認可保育所にて一時預かりを実施する。	11,215,200	子ども未来室
73	障害児保育の充実	障害のある子どもとない子どもと一緒に生活する中で、ともに成長しあえるよう保育内容を充実させるとともに、関係機関と連携しながら、受け入れ体制の整備を図ります。	障害を持つ児童2名に対して1名の保育士を配置し保育を実施。	71,570,000	子ども未来室
74	病後児保育事業	保育所に通所中の児童が病気の回復期であり、集団保育の困難な期間、病院等で一時的に預かる事業を実施しています。	土日祝日を除く8時から18時まで保育を阪南中央病院病後児保育室ひまわりにて実施する。 各公立保育所及び民間保育園にて看護師を配置する事で、保育中の体調不良児を看護する。	6,000,000	子ども未来室
75	特定保育	保護者の就労形態の多様化に伴い、週2、3日程度、または午前か午後のみなど必要に応じて柔軟に利用できる特定保育事業の充実を図っていきます。	月64時間以上96時間未満の保育を、青い鳥学園、清水保育園、松原保育園、松原カーリー保育園にて実施。	1,720,000	子ども未来室
76	幼稚園預かり保育事業	保護者の子育て支援施策等の一環として、すべての市立幼稚園で教育課程に係る保育時間終了後に、希望する保護者の園児を対象に預かり保育を行うなど、市立幼稚園の教育内容の充実を図ります。	保護者の子育て支援及び就労支援施策のひとつとして、すべての幼稚園で教育課程に係る保育時間終了後に、希望する保護者の園児を対象に預かり保育を行います。平成26年度からはさらに、統合してできた四つ葉幼稚園で試行的に早朝の預かり保育を実施しています。	12,863,219	教職員課

施策の展開	基本目標3	子育て家庭への社会的支援
-------	-------	--------------

番号	事業名	事業概要	平成26年度予定	決算額	関係課
77	地域子育て支援事業(ひろば型)	常設のひろばを開設し、子育て家庭の親とその子どもが気軽に集い、打ち解けた雰囲気の中で語り合い、相互に交流を図る場の提供、子育てに関する相談及び援助、子育て関連情報の提供及び子育てに関する講習を引き続き実施します。	0～3歳の未就園児とその親を対象としたひろば事業を常設のなごみの広場(道夢館)・わいわい広場(青少年会館)に保育士2名を配置し、子育て相談、子育て支援講習会等を実施する。	5,815,381	子ども未来室
78	ファミリーサポートセンター事業の充実	仕事と家庭の両立を支援する事業として、地域との連携を図り、育児の援助を行いたい人と育児の援助を受けたい人からなる会員制による相互援助活動をさらに充実します。	子ども未来室に子育てアドバイザーを再任用職員として2名配置し、生後3ヶ月から12歳までの児童を対象として会員相互に子育ての援助を行う。また、会員数の増加を図るため講座、交流会を実施する。	7,539,355	子ども未来室
79	子育て支援協力員事業	各小学校区に1名ずつ「子育て支援協力員」を配置し、子育てについての情報を広く伝えとともに、子育てに関する様々な悩みや不安に対して適切に対応できる相談体制の充実及び子どもを安心して生み育てられる環境の整備と児童の健全育成に努め引き続き努めます。	子育て協力員を各中学校区にそれぞれ配置し、各公立保育所や幼稚園の園庭解放や子育て支援センター事業、親子教室、講習会などに派遣し、各事業の協力や保護者に対して育児相談等を行う。また、発達障害の教室や、問題別グループへの派遣も新たにしている。講習会の回数の増加に伴い、母子分離の講習会時の保育の役割も担っていく予定である。また平成26年度は養成講座を開催し新たな協力員を養成していく予定である。	1,209,145	子ども未来室
80	地域子育て支援事業	子育て支援センターを核として民生委員児童委員・子育てサークルなどと連携を持ち、地域での子育て支援の充実に努めます。	未定	0	子ども未来室
81	ひとり親家庭への生活・就労支援	ひとり親が抱える悩みの解決に向けて、現在の相談事業を充実させるとともに、経済的な自立の支援、多様なニーズに対応した育児サービスによる子育て支援の充実に努めます。	平成26年度については、就労相談5件、生活一般10件(生活一般及び経済的支援、生活援護)の相談を見込む。	0	子ども未来室
82	母子自立支援員による相談事業	母子及び寡婦福祉法に基づき、生活一般、就業、離婚問題等の相談を受け、自立に必要な情報提供と支援を行います。	平成26年度として、情報提供 110件見込み その内訳として、高等技能訓練促進費 40件 自立支援訓練費として30件を見込む。 離婚前相談としては 50件見込み DV相談 5件見込む	3,088,197	子ども未来室

施策の展開	基本目標3	子育て家庭への社会的支援
-------	-------	--------------

番号	事業名		事業概要	平成26年度予定	決算額	関係課
83	母子寡婦福祉資金貸付事業		母子家庭の母、寡婦の経済的自立の助成と生活意欲の助長を図り、また扶養している子の福祉の増進を行います	平成25年度として、貸付相談件数は、60件、相談回数は70件を見込む。	6,976	子ども未来室
84	母子家庭自立支援給付金事業		母子家庭の母の就業をより効果的に促進するため、自立支援教育訓練給付金、高騰技能訓練促進費等事業を行います。	高等技能訓練促進費について、17件 事業費20,450,000円 自立支援訓練促進費3件 事業費300,000円を見込む	11,028,980	子ども未来室
85	母子自立支援プログラム策定事業		就労支援策の1つとして自立の促進のために個々の状況、ニーズ等に対応した自立支援プログラムを策定し、これに基づききめ細やかで積極的な自立、就労支援を実施します。	プログラム策定件数15件を見込む	342,959	子ども未来室
86	母子福祉センター事業		母子及び寡婦家庭に対し、各種の相談に応じるとともに、生活・就業の支援を行い、生活の安定と児童の福祉の増進を図ります。	パソコン講座 30回実施 約200人 英会話 18回実施 約55人 洋裁教室 20回実施 約100人 和裁教室 20回実施 約100人 母子相談 51回実施 約120人	836,000	子ども未来室
87	子育て短期支援事業	短期入所生活援助(ショートステイ事業)	疾病、出産、冠婚葬祭などの事由によあって一時的に養育が困難な場合、または、経済的事由などにより緊急一時的に保護を必要とする場合、一定期間児童福祉施設などで養育・保護します。	家庭において養育が困難な児童を児童養護施設や母子生活支援施設で緊急一時保護を行う。	52,250	子ども未来室
88		夜間養護(トワイライト事業)	家庭の保護者が仕事等の理由によって平日の夜間または休日に不在となった場合、児童福祉施設などで養育・保護します。	児童を児童養護施設や母子生活支援施設で養育・保護を行う。	0	子ども未来室

施策の展開	基本目標3	子育て家庭への社会的支援
-------	-------	--------------

番号	事業名	事業概要	平成26年度予定	決算額	関係課
89	知的障害児通園	療育・訓練を必要として通園施設(四天王寺悲田院)に通う知的障害児の発達支援を行い、施設や内容の充実を支援します。	知的・運動発達の遅れや自閉症などの発達障害がある児童に対し、通園施設(四天王寺悲田院児童発達支援センター・こども発達支援センターSUN)において、児童の自立を目的に、個別または集団で療育を実施する。四天王寺悲田院児童発達支援センターにおいては、施設の運営に要する経費の助成を三市(羽曳野市・松原市・藤井寺市)で行う。	16,870,881	子ども未来室
90	肢体不自由児通園	肢体不自由児を対象に、通園施設(四天王寺悲田院)で機能訓練を行い、社会適応力を養い自立の支援に努め、施設や内容の充実を支援します。	運動機能発達の遅れがある児童に対し、通園施設(四天王寺悲田院児童発達支援センター・こども発達支援センターSUN)において、児童の自立を目的に、個別または集団で療育を実施する。四天王寺悲田院児童発達支援センターにおいては、施設の運営に要する経費の助成を三市(羽曳野市・松原市・藤井寺市)で行う。	16,870,881	子ども未来室
91	補装具の交付・修理	身体障害児の身体機能を補うため、障害部位に応じた装具を交付し、または修理を行うことにより、日常生活行動の向上を図ります。	内容は左記の取り組み内容のとおり。購入71件。修理48件。	6,429,984	障害福祉課
92	日常生活用具の給付	身体又は知的障害児の日常生活活動を容易にするため、障害に応じた用具を給付し、本人及び介護者の精神的、肉体的負担を軽減します。	左記の取り組み内容のとおり、心身障害児300件、小児慢性特定疾患児4件	3,809,834	障害福祉課

施策の展開	基本目標3	子育て家庭への社会的支援
-------	-------	--------------

番号	事業名	事業概要	平成26年度予定	決算額	関係課
93	障害児居宅支援事業	ホームヘルプサービス事業、ガイドヘルプサービス(移動支援)事業、デイサービス事業、短期入所事業(ショートステイ)、日中一時支援事業の充実を図ります。	ホームヘルプサービス 7人 2,480時間 ガイドヘルプ 47人 12,497時間 短期入所 14人 414日 日中一時支援 34人 442回 児童発達支援 58人 5,641日 放課後等デイサービス 102人 8,031日 保育所等訪問支援 15人 82日 障害児相談支援 83人	130,064,202	障害福祉課
94	就学指導委員会	障がいのある就学予定児童等に対し、適切な教育が行われるよう、医師等専門家の助言を得ながら、就学相談を行います。	障がいのある就学予定児童等に対し、適切な教育が行われるよう、医師等専門家の助言を得ながら、就学相談を行います。	726,000	教職員課
95	支援学級合同校外学習	市内小・中学校に在籍する児童・生徒及び支援教育担当教職員の交流を通して、本市支援教育の充実・発展をめざします。	委託先:松原市教育研究会 市内小・中学校の支援学級に在籍する児童生徒及び支援学級担当教員の交流を通し、本市支援教育の充実・発展をめざす。	353,000	教職員課
96	障害児支援ネットワークづくり	地域自立支援協議会と要保護児童対策地域協議会を中心に、障害児に対して地域での見守りを実施しつつ、障害児に関わる関係機関の連携と支援体制をより一層強化し障害児支援ネットワークづくりを進めるとともに、随時個別支援会議を行います。	平成26年度についても、5、7、9、1、3月に障害児部会を開催し、切れ目の無い支援体制を強化するために、具体的にどんな支援ができるかということ、個別支援会議の中から、検討する。	3,200,000	障害福祉課
			平成25年度についても、5・7・9・11・1・3月に障害児部会を開催し、切れ目の無い支援体制を強化するため、事例を用いて支援を検討する。	0	子ども未来室
97	自閉症・発達障害児とその家庭への支援	乳幼児健康診査・相談等を行うにあたって、自閉症・発達障害児の早期発見に十分留意し、自閉症・発達障害が疑われる場合は、関係機関と連携しながら医療の情報提供や療育、相談等総合的な支援をします。	経過観察が必要と思われる場合、親子教室や心理相談等を案内。その結果必要に応じて療育センターや通園施設、就学前相談等を案内し、関係機関との連携を図る。	0	地域保健課
			家庭児童相談室において、臨床心理士を配置し、発達障害の傾向がある児童の保護者からの相談に対応する。また必要に応じて発達検査等を実施し、療育の必要性や進路を検討する。幼児教室やグループワークでは、子どもの発達状況をアセスメントし、必要に応じて保護者の障害受容を促す。市内保育所に対しては巡回相談を実施し、主に加配保育の対象となる障害児児童のアセスメント及び対応の助言を保育士に対して行う。	1,915,050	子ども未来室

施策の展開	基本目標3	子育て家庭への社会的支援
-------	-------	--------------

番号	事業名	事業概要	平成26年度予定	決算額	関係課
98	教育・子育てに関する情報提供(翻訳)	日本語を母国語としない外国人市民に対して、子育て・教育に関する情報を母国語に翻訳し、提供します。	日本語を母国語としない外国人市民に対して、「保育所だより」「給食予定表」「保育所からのお知らせ」「入学案内」等を母国語に翻訳し、子育てに必要な情報を提供します。	4,605,000	市民協働課
99	保育所への通訳派遣	日本語を母国語としない外国人市民に対して、保育士との懇談会などを開催するとともに、通訳を派遣し、保育所での子どもの生活、必要な子育ての情報提供を行い、保護者と保育所との相互理解を深め、子育て支援の充実を図ります。	保育所に通う中国人保護者への予定献立表・食事だより・園だよりの中国語翻訳文を毎月配布します。	0	子ども未来室
			日本語を母国語としない外国人市民に対して、保育士との懇談会などに通訳を派遣し、保育所や幼稚園での子どもの生活に必要な子育ての情報提供を行い、保護者と保育所、幼稚園との相互理解を深め、子育て支援の充実を図ります。	4,605,000	市民協働課
			合 計	3,804,849,174	

施策の展開	基本目標4	子育てと仕事の両立支援
-------	-------	-------------

番号	事業名	事業概要	平成26年度予定	決算額	関係課
100	家庭における男女平等意識の普及啓発	固定的な性別役割分担意識にとらわれることなく、自分らしく生き、家庭で豊かな人間関係が築けるように、情報提供や支援を実施します。	家族が、固定的な性別役割分担意識にとらわれることなく、自分らしく生き、対等なパートナーとして豊かな人間関係が築けるような男女共同参画社会の実現を目指し、自分を見つめ直すきっかけづくりとして講座等を実施します。また、家庭における男女平等意識の普及啓発のため、啓発冊子を発行し配布します。	82,000	人権交流室
101	男女共同参画のための意識啓発	誰もが平等に社会参画できるよう啓発に努めます。また、快適な職場づくり、暮らしやすい男女共同の地域社会づくりのための啓発にも努めます。	幼児期からお互いを認め合い、個を大切にする考えを進めるために、誰もが平等に社会参画できるよう啓発に努めます。また、子育てと仕事の両立ができる快適な職場環境の整備や、暮らしやすい男女共同の地域社会づくりの啓発のために、啓発冊子を発行し配布します。	142,000	人権交流室
102	父親の子育てへの参画を促すための啓発	誰もが平等に社会参画できるよう啓発に努めます。また、快適な職場づくり、暮らしやすい男女共同参画の地域社会づくりのための啓発に努めます。	父親と母親がともに協力して子育てができるよう、広報等で男性の子育て参画を促すとともに、情報の提供や啓発に努めます。	90,000	人権交流室
103	子育て講座への父親の参画促進	子育てに関して実施する講座に父親の参画を促します。	妊娠中から父親の育児参加を促すために、マタニティ・スクールやパパママ教室で、父親の妊婦体験や沐浴実習・赤ちゃん抱っこ、おむつ交換の実習を取り入れる。マタニティ・スクールは平日6クール(1クール4回)、パパママ教室は年6回、日曜日の午後開催。	0	地域保健課
			講座などになかなか興味を持てない人も参加しやすい文化活動を休日に実施することにより、父親の子育てへの参画を促し、啓発に努めます。	0	人権交流室

施策の展開		基本目標4	子育てと仕事の両立支援		
番号	事業名	事業概要	平成26年度予定	決算額	関係課
104	労働時間短縮の啓発	勤労者がゆとりある生活をできるように、勤労者や企業に対し様々な機会を通じて労働時間短縮の実現に向けた取り組みを行います。	国や府からのポスター及びチラシ等により啓発を行う。	0	産業振興課
105	育児休暇、介護休暇取得の啓発	労働者や企業に対し、育児休暇、介護休暇の取得制度確立に向けた取り組みに努めます。	国や大阪府からの啓発ポスター及びチラシ等により、周知を行う。	0	産業振興課
106	労働相談	働く上での悩みや苦情等の相談について、問題解決へのアドバイスを行います。	労働相談を周知し広く活用してもらえるようにする。	89,250	産業振興課
107	職業能力開発への支援	女性が職場で活用できるように、技術・技能を習得出来る講座、講習会を開催し、職業能力開発への支援を行います。	医療事務講座・介護職員初任者研修・就労支援セミナー(全4回)を実施する。	1,748,274	産業振興課
108	雇用就労支援事業	障害者、母子家庭の母親、中高年齢者など働く意欲がありながらさまざまな阻害要因があるために、雇用就労ができない人(就職困難者)を対象に、雇用就労の実現に向けた支援を行います。	就労支援センターにて、就労困難者の様々な相談に対応し、就労を促進するために、職業訓練や資格取得等の情報を提供する。	1,748,274	産業振興課
合 計				3,899,798	

施策の展開	基本目標5	子どもの豊かな個性を育む環境づくり
-------	-------	-------------------

番号	事業名	事業概要	平成26年度予定	決算額	関係課
109	幼稚園教育の推進	「ゆめ育む幼稚園教育推進事業」等を通して、保育内容の充実に努め、魅力ある開かれた幼稚園教育を推進するとともに、幼稚園間の協働の取り組みや保・幼・小の連携に努めます。	幼児期におけるコミュニケーション能力の育成等について、各園で実践を重ね、各学校園に発信します。	120,000	教育推進課
110	保育所での保育	子どもが健やかに成長し、その活動がより豊かに発展され、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながる発達支援に努めます。	子どもの年齢ごとにカリキュラムを定め、保育内容を話し合い、保育の実践に生かします。	0	子ども未来室
111	心の教育の推進	スクールカウンセラーの配置等教育相談活動の充実をはじめ、倫理観の育成をめざす心の教育の充実に努めるとともに、関係機関等との連携による児童虐待への対応等、心のネットワークづくりを進めます。不登校児童・生徒の自立や社会性の育成等をめざし、松原市教育支援センターの運営とともに、訪問指導員やメールを活用した交流事業等を実施します。	小中学校におけるいじめの早期発見・早期対応と未然防止及び、学習指導に対する支援活動（特別支援を含む）の役割を担う者として、大学生等のボランティアによる教育活動支援員「スクール・サポーター」を小中学校に派遣し、教育活動の円滑な実施を支援する。 ・スクールサポーター 22名	1,540,000	教育推進課
112	特色と個性化教育の推進	「マイスクール推進研究事業」等を通して、魅力あふれる特色ある学校園づくりを推進します。中学校区の校種間連携を基盤とした一貫した教育を推進するとともに、豊かな自己実現を図る進路指導の充実を図ります。	「マイスクール推進研究事業」に加え、中学校区の校種間連携を基盤とした多様な協働の取組みを推進します。そのため、新たに松原第三中学校区を研究指定し、小中一貫した豊かな自己実現を図る指導の充実を図っていきます。更に、経験豊かな退職教員を学校に派遣し、教科指導をはじめ、その指導力を学校現場の取組みに活かすことで、学校教育の充実に努めます。	14,699,616	教育推進課
113	総合的な教育力の推進	地域の人材をゲストティーチャーに招く等豊かな人間性を育む開かれた学校づくりを推進します。児童生徒の望ましい勤労観・職業観の育成をめざし、職場体験学習をはじめとするキャリア教育を推進します。	地域人材の方との出会いを通して、児童生徒が、自他の人権を大切に、豊かな人間性の育成と規範意識を育み、家庭、地域と連携した教育活動を推進してきた。また、児童生徒が自分の将来に対する展望を持ち、望ましい勤労観・職業観の育成をめざし、職場体験学習をはじめとするキャリア教育を推進を図っていく。	1,578,000	教育推進課

施策の展開	基本目標5	子どもの豊かな個性を育む環境づくり
-------	-------	-------------------

番号	事業名	事業概要	平成26年度予定	決算額	関係課
114	人権教育の推進	教育活動全体を通じた人権教育の推進を図るとともに、児童生徒の実態等に応じたカリキュラムづくりと効果的な指導方法の研究・実践に努めます。	今年度も各学校における人権課題に対する教職員の資質向上のために、幼小中すべての校園におきまして研修会を実施します。また、PTAや地域教育協議会との共催において、「21世紀を生きる松原の子どもたちの集い」を開催し、「いじめゼロ 心の絆を育てよう」をテーマとして、児童生徒のすべての大人による次世代の育成のための啓発につなげていきます。	604,198	教育推進課
115	国際理解教育の推進	ALT(外国語指導助手)の配置により、中学校での外国語教育の充実と小学校での英会話体験の推進を図るとともに、外国人児童・生徒に対する学習等への支援を行います。	外国語活動の充実をめざし、小学校ではALT1名を3週に1回ずつ、6年生に年間通して配置します。また、小学校英語指導協力員6名を各校5・6年に年間35回ずつ配置する。中学校では、ALT4名を前期あるいは後期にすべてに全日配置し英語力の向上をめざします。日本語指導が必要な外国人幼児・児童・生徒に対する学習等への支援を行い、国際理解教育を推進していきます。	30,390,379	教育推進課
116	情報教育の推進	インターネットを活用した調べ学習や魅力あるコンテンツの開発等を推進し、教科での情報機器の有効活用やTV会議システム等を活用した国内外の共同学習や交流学習を推進します。	児童生徒の情報活用力の育成と、わかる授業づくりのための教職員のICT活用指導力の向上を目指す教職員研修を実施します。市内全小中学校において、コンピュータや大型デジタルテレビ、タブレット型端末等の情報機器を活用した授業を実施します。また、TV会議システム等を活用し、海外との交流学習や、校区間の小学校での交流学習を実施します。	478,807	教育推進課
117	幼稚園及び小中学校施設営繕工事	幼稚園及び小中学校の校舎の老朽化した施設の改修工事に努めます。	幼稚園、小中学校の営繕工事、防災機能強化工事等を実施。 ・営繕工事(幼稚園5園、小中学校22校) ・危険改築工事(天美幼、布忍幼) ・屋内運動場非構造部材耐震化工事(小中学校12校)	584,911,951	施設課
118	全国学力・学習状況調査の検証と学校への取組支援 平成19年4月～	全国及び大阪府学力・学習状況調査の結果から、児童生徒の学力、学力と学習状況の関係等を分析・検証し、課題の改善に向けた取組への支援を行います。	これまでの分析の結果より明らかになってきた課題の改善のための支援を引き続き行うため、まつばらチャレンジ25、4つの重点目標と15の最重点課題を策定し、進捗状況について提出、確認をします。また、授業づくりに関する研修をさらに充実させるとともに、秋の教育研究フォーラムとして、小中15校園で言語活動の充実を柱とした公開授業を実施することで一層の授業改善と自学自習力の育成、組織的な研究体制の確立、家庭・地域との協働体制の充実をはかります。	0	教育推進課

施策の展開	基本目標5	子どもの豊かな個性を育む環境づくり
-------	-------	-------------------

番号	事業名	事業概要	平成26年度予定	決算額	関係課
119	少年自然の家	学校教育や家庭教育を支援する施設として維持管理を行い、豊かな自然環境の中で、仲間づくりや共同生活、野外炊さんやキャンプ等の体験活動を行う。	前年度に引き続き、施設及び設備の万全な運営管理を実施するとともに、各企業、高等学校、大学等への利用促進活動も活発化し、より一層の利用者増を図る	37,086,110	いきがい学習課
120	青少年野外活動センター	青少年に自然とのふれあいや野外における規律ある共同生活や体験活動の場を提供し、青少年の健全育成を図る。	大塚青少年野外活動センターの維持、安全な管理及び運営に努め、当センターの利用により、本市の青少年に自然との触れ合いや野外における規律ある共同生活の場を提供する。	719,462	みちみどり整備室
121	世代間交流事業	体験を通じた高齢者と子どもの交流を推進します。	あみもの広場実施中	0	いきがい学習課
122	いきいき事業	各中学校区に児童・生徒の健全育成を目的とした地域教育協議会を設置し、教育コミュニティの形成をめざします。	450,000円×7中学校区=3,150,000円 のべ参加人数 31,000人	3,150,000	地域教育課
123	地域でのスポーツ体験活動の推進	地域において、体育指導委員をはじめ、多くの人々や団体の協力を得て、子どものためのスポーツ体験の活動を推進します。	会場 河合小学校、 松原北小学校 回数 2回 対象 幼児～高齢者 参加人数 300人	87,000	いきがい学習課
124	子ども会活動の推進	子どもたちの自主性、創造性を尊重し、子どもたちの創意による活動を推進するため、自主的活動の援助、指導を行い、社会性を体得させていく活動を促進します。また、小学校区単位で子ども会相互間の交流を図り、子ども会活動の推進に努めます。	松原市こども会育成連絡協議会に対して補助を行い子どもたちが社会の構成員であるという意識を持って活動できるよう、地域におけるこども会活動の育成指導、児童の健全育成に努める。	1,260,907	地域教育課
125	青少年リーダーの育成	プレリーダーを育成し、ボランティア活動を支援します。	松原ジュニアリーダー会に対して、地域のこども会や、青少年団体の活動の支援や助言を行うなどの活動やリーダー会の育成における補助を行い、青少年の健全育成を図る。	35,880	地域教育課
126	社会教育関係団体指導者セミナー	地域で子どもを指導する指導者の資質向上と、各団体の活動内容の充実並びに社会教育の振興を図ります。	報償費 40,000円 実施回数 5回 参加者数 118人	40,000	地域教育課

施策の展開	基本目標5	子どもの豊かな個性を育む環境づくり
-------	-------	-------------------

番号	事業名	事業概要	平成26年度予定	決算額	関係課
127	地域サポーターの活用 平成17年6月～	主に退職された方の様々な知識や技術、豊かな経験などを生かすため、松原市生涯学習地域サポーター(まっcom)事業により、地域や学校、各種サークル活動等様々な学習の場で指導者・支援者として市民の生涯学習活動を支援します。	まっcom派遣事業実施中	76,500	いきがい学習課
128	有害環境対策の推進	情報化社会の進展に伴い、青少年を取り巻く環境が大きく変容している中、青少年が健全に成長できる環境づくりを進めるため、大阪府青少年健全育成条例の普及啓発と併せて、関係事業者の営業状況をきめ細かく調査し、有害環境の浄化を図ります。	関係事業者の営業状況の調査、把握と併せて、市民や関係事業者に対して大阪府青少年健全育成条例の広報活動を行う。	262,500	地域教育課
129	留守家庭児童会室の充実	保護者等が就労や疾病等により、放課後留守家庭になる小学校1年生～3年生の児童を対象に、遊びを通して安全保護及び生活指導を図り、子どもの発達に合わせた活動内容の充実に努めます。	引き続き、留守家庭児童に対して、健全な育成に努めます。	115,477,337	子ども未来室
130	放課後等における学ぶ機会の充実	子どもたちの学習習慣の確立に向けて、放課後等を活用した学習を実施します。	小学校・中学校とも全ての学年を対象にして、放課後等に学習支援アドバイザー(主に学生ボランティア)を配置をすることで、学力向上の一層の取り組みの継続と充実を図る。	10,592,000	教育推進課
131	子どもの本の提供	豊かな心を育て、子どもたちに自由な読書体験を広めるために、多様な図書をそろえて提供します。	引き続き身近に利用できる市内8ヶ所の図書館をサービスポイントとし、読書の楽しさを広げる活動を行っていききたい。	3,826,437	市民図書館
132	子ども向け行事の展開	年一回実施する「図書館まつり」をはじめ、夏と冬休みに実施しているお楽しみ会、各図書館で行っているお話会や手作り会など子ども向けの行事を充実します。	引き続き各館を拠点に、おはなし会、お楽しみ会などを実施し、図書館が子どもたちにとって楽しい場所であることをアピールしたい。	52,898	市民図書館

施策の展開	基本目標5	子どもの豊かな個性を育む環境づくり
-------	-------	-------------------

番号	事業名	事業概要	平成26年度予定	決算額	関係課
133	ブックスタート	乳幼児サービスの一環として、4か月児健診時に赤ちゃんとお母さん、お父さんへ絵本の楽しさを伝え、市民図書館の利用を促進します。	引き続き「えほんのゆりかご」を実施し、早い時期から本に親しむ機会を提供したい。また各館での乳幼児向けおはなし会にも取り組みたい。	50,000	市民図書館
134	小中学校との連携	図書館の団体貸出によって読書資料の提供をさらに進めるとともに、学校図書館の充実を支援し、学校での教育・読書活動に資するために必要な資料の提供を行います。	団体貸出しで利用されるような、教科の調べ学習に適した資料を積極的に購入し、資料面での援助を進めたい。	419,429	市民図書館
135	プラネタリウム	児童に対して星など天体への興味を高めるため、一般投影や小学生向けの学習投影、園児向けの七夕投影を行います。	運営休止	474,862	市民図書館
136	文化活動の推進	子ども向けの人形劇や演劇、クリスマスコンサートを開催し、参加型ワークショップを取り入れた演劇ワークショップを実施するなど、子どもを主体とした文化芸術の鑑賞機会や発表の場を提供します。	子ども向けの体験学習講座や映画などを行い、子どもを主体とした文化芸術の鑑賞機会や講座の提供を行います。 文化振興事業 ヒューマンライツシアター ふるさとびあプラザ体験講座	460,000	いきがい学習課
137	地域の歴史的遺産を活かした学習機会づくり(特色ある道づくり事業の活用)	長尾街道、高野街道などが持ち合わせている古道の特色を広く周知し、地域の歴史的遺産に子どもたちが親しむ機会を提供します。	該当なし	0	産業振興課
138	体験型の文化・スポーツ講座	「子育て」に関わる課題をテーマに、親子関係を見つめる参加体験型セミナー、子育て不安や孤立しがちな親の悩みに応え、互いにつながることでエンパワーしていく親支援を行います。	No.51 ファミリー体験交流活動へ移行。	0	人権交流センター
139	国際交流など交流事業の推進	国際化に対応し、子どもを対象とした国際理解、国際感覚を育む交流事業を推進します。	平成27年1月31日(土)から2月4日(水)友好交流都市台北市文山区より静心中小学が来訪。市制施行60周年記念式典において吹奏楽の演奏、第4中学・第7中学において教育交流(授業体験・給食)する。	0	市民協働課

施策の展開	基本目標5	子どもの豊かな個性を育む環境づくり
-------	-------	-------------------

番号	事業名	事業概要	平成26年度予定	決算額	関係課
140	「保育体験」等の充実	中学生が、子どもや家庭の大切さを理解できるようにするため、保育所や幼稚園等を活用し、乳幼児とふれあう機会を広げる取り組みを推進します。	二学期に、家庭科の学習として中学校で半日(2時間)の保育実習を行うとともに、職場体験学習のひとつとして、希望者が保育所や幼稚園で学びます。また、中学校の体育祭に保育所・幼稚園児を招待した合同種目等も実施する予定です。	0	教育推進課
141	各種講座やセミナーの開催	家庭や子育てについて理解を深める講座やセミナー等に、次代の親となる若い世代が積極的に参加できるよう、広報を充実するとともに、開催時間、場所等、子育て中の人や働いている人などが参加しやすい体制をつくります。	ファミリーサポートセンター事業として子「援助会員養成講座」など、子育て関連の講習会の内容を充実する。	190,000	子ども未来室
			居場所づくり【男女共同参画】 居場所づくり【一般】 各講座実施中	0	いきがい学習課
			合 計	808,584,273	

施策の展開	基本目標6	子どもが元気でのびのび育つ環境づくり
-------	-------	--------------------

番号	事業名	事業概要	平成26年度予定	決算額	関係課
142	都市公園整備事業	都市公園は、レクリエーションや憩いの場所であるとともに、災害時には緊急の避難場所や延焼を防止する重要な役割を果たしていることから、日常生活の活動の拠点としての整備を図ります。	三宅東公園整備事業:350,007,000 都市公園等明示測量設計調査:800,000	392,153,650	みちみどり整備室
143	公共施設の開放	保育所、幼稚園、小・中学校など身近な地域の各種施設を、子どもの遊び場や地域の人と子どもとの交流の場の拠点として、有効に活用していきます。	学校開放事業や学校園施設の目的外使用により地域住民に学校施設の一部を開放することで市民のコミュニティの醸成促進や児童・生徒の健全育成の場として活用する。 尚、見込み件数等は前年度程度を予定しています。	0	施設課
144	子ども広場	市内の小学1年生～6年生までの子どもに安全・安心な居場所を提供するとともに子どもの健全育成、支援を図ります。	月～金曜日の放課後と夏休み、冬休み、春休みの居場所提供。	0	人権交流センター
145	指導者の人材バンク	スポーツ指導者の人材を確保・活用することにより、地域スポーツの推進を図るため、指導者バンク登録を行います。	平成24年度より指導者バンク登録は行っておりません。	0	いきがい学習課
146	体育館・道夢館・運動広場管理事業	安全快適な施設への維持管理を行います。	小規模修繕は業者に任せ、50万円を超える修繕を市が負担し、施設の維持管理を行う。	85,504,093	いきがい学習課
147	生涯スポーツ推進事業	基礎体力づくり、健康増進、市民の相互交流を図るため、親子体操・子ども体操等の各教室を開催します。	指定管理者による親子体操教室、こども体操教室の実施	1,728,000	いきがい学習課

施策の展開	基本目標6	子どもが元気でのびのび育つ環境づくり
-------	-------	--------------------

番号	事業名	事業概要	平成26年度予定	決算額	関係課
148	少年少女スポーツ少年団活動	地域社会の中で、スポーツを通じて子どもの健全育成を図り、子ども同士の交流を促すため、少年少女スポーツ団体による各種スポーツ活動の促進に努めます。	各種スポーツ団体による活動の促進に努める。	0	いきがい学習課
149	総合型地域スポーツクラブ	継続的にスポーツに親しめる環境づくりをめざす、地域に根ざした自主運営型スポーツクラブを順次設立し、スポーツ活動団体と連携・協力し、情報提供などを通じて活動支援します。	スポーツ団体と連携・協力し継続的に活動支援。	0	いきがい学習課
150	市営住宅への入居	市営住宅の募集に際し、子育て家庭に配慮した優先入居等の方法も検討していきます。	今年度の募集では、一般世帯(1戸)や障害者世帯(1戸)のほか、母子世帯(1戸)、子育て世帯(2戸)及び新婚世帯(1戸)枠を設けました。	5,915,977	建築住宅課
151	バリアフリー計画基本構想	「松原市バリアフリー構想及び事業計画」に基づき、鉄道駅やバス停及び車両等と鉄道駅等を中心とした一定地区における道路、駅前広場、その他の施設をバリアフリー化に向けて取り組んでいきます。	引き続き各事業者と連携し、事業の進捗管理を行っていく。	0	まちづくり推進課
152	幼稚園及び小中学校のトイレの洋式化 平成17年4月～	生活様式の変化に伴い、多くの家庭における洋式のトイレの普及や身体への負傷等により和式トイレが使用できない幼稚園児及び小中学校児童のため、一日の大半を過ごす学校のトイレの洋式化に取り組み、よりよい学校環境を目指します。	各幼稚園営繕工事において松原西幼1ヶ所に洋式トイレを設置。各中学校営繕工事において松原第二中1ヶ所、松原第七中2ヶ所に洋式トイレを設置。また、トイレ改造工事において松原南小3ヶ所、布忍小4ヶ所、恵我南小4ヶ所、河合小5ヶ所に洋式トイレを設置。	0	施設課
153	幼稚園及び小中学校の施設バリアフリー対策	障害のある幼稚園児・小中学校児童に配慮した身障者トイレ・階段手すり・スロープの設置など、バリアフリー化に努めます。	トイレ改造工事において身障者トイレを松原南小学校1ヶ所に設置。各小学校営繕工事において松原西小にスロープを設置。また、恵我小に階段手すりを設置。松原第四中学校にエレベータを設置。	78,120,000	施設課

施策の展開	基本目標6	子どもが元気でのびのび育つ環境づくり
-------	-------	--------------------

番号	事業名	事業概要	平成26年度予定	決算額	関係課
154	保育所・幼稚園及び小学校の安全管理	保育所・幼稚園及び小学校安全対策として、保育所・幼稚園のモニター付インターホン及び小学校の校門に管理員を配置した中で不審者の侵入を防止します。	幼稚園・小学校安全対策として、幼稚園のモニター付きインターホン及び小学校の校門に監理員を配置し、不審者の侵入を防止するとともに、小学校に設置した防犯カメラで夜間の安全対策も行います。	29,024,840	教育総務課
			引き続き情報の共有と迅速な対応を行う。	0	子ども未来室
155	「子ども110番の家」の推進	地域ぐるみで子どもを守るため、地域住民の協力を得て、通学路の民家などを緊急時に助けを求めて駆け込める場所として「こども110番の家」を設置し、子どもの安全確保に努めます。	引き続き、子どもの110番の家や子どもの安全見守り隊に関する支援を各校とともに行う。	685,296	地域教育課
156	安全なまちづくりの推進	人と人とのつながりと助け合いを大切にして、障害者、子ども、高齢者等すべての市民が、犯罪、災害、事故等のない安全で安心して暮らせるまちづくりを進めていくために、関係機関や市内各団体等と連携を図り、啓発事業等を行います。	市内の幼小中学校園において危機管理マニュアルの改訂補強を進め、地域や各関係機関と連携した避難訓練を実施し、安全で安心なまちづくりのために安全教育・防災教育を推進します。市内での防災教育研修を実施し、各校での実践交流やアドバイザーの活用により防災教育の充実を進めます。	0	教育推進課
157	安全教育の推進	幼児児童生徒の安全確保に向けて、各学校園の危機管理マニュアルに則り、不審者進入や緊急災害時等を想定した避難訓練を実施するとともに、学校園内外の安全管理に関して定期的な点検等を行います。	全小学校1年生に防犯ベルを配布する。また、松原市内全小中学校、幼稚園28校園で危機管理マニュアルの改訂補強をおこない、マニュアルに則った不審者進入や緊急災害時等を想定した避難訓練を実施。各校園で校園内の安全点検を定期的実施するとともに、全15小学校で、通学路安全マップに基づき通学路の安全確認を実施する。	735,370	教育推進課
158	交通安全活動の推進	警察署との連携により、市立保育所、幼稚園、小学校において年2回程度交通安全教室を開催し、児童及び保護者に自転車の安全な乗り方や正しい道路の横断方法などをビデオや実地指導により行い、交通事故防止を図ります。	全国交通安全運動週間に伴う啓発活動を行い、市内保育所、幼稚園、小学校においての交通安全教室について、すべての施設で行う。幼稚園では保護者の参加をすすめ、特に自転車の安全利用について指導する。	1,817,052	市民協働課

施策の展開	基本目標6	子どもが元気でのびのび育つ環境づくり
-------	-------	--------------------

番号	事業名	事業概要	平成26年度予定	決算額	関係課
159	防犯の推進	子どもが犯罪などの被害に遭わないよう、また、青少年の非行防止や犯罪のない明るいまちづくりのため、防犯協議会をはじめ地域、関係機関などの連携のもと、防犯教室などを通じた防犯意識の啓発普及を推進していきます。	全小学校で、万引きや喫煙等の防止に向けて、全ての小学校5年生及び6年生に非行防止教室を富田林少年サポートセンター等関係機関との連携を通して実施した。	0	教育推進課
160	安全施設等の設置	生活道路等に防犯灯を設置することにより、ひったくりなどの街頭犯罪の抑止を図ります。	子どもが犯罪に巻き込まれることのない明るいまちづくりを目指すため、町会が設置する防犯灯について、設置に要した費用と電気料金の一部を補助する。LED灯への切り替えをすすめる。また商店街電灯の電気料金の一部を補助することにより、さらに安心・安全の暮らしを地域ぐるみですすめていく。	43,323,900	市民協働課
合 計				639,008,178	